

施策  
( - 1 - 2 )

## 自然とのふれあいの推進

### 目的

自然学習施設や自然公園・森林公園等を活用して県民が身近な自然とふれあう機会を増やすことをめざします。

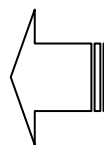
### 成果指標と目標値

#### 目標値(平成19年度)

自然公園入場者数 830万人  
自然学習施設の  
入場者数 70万人  
自然とのふれあいを推進  
するリーダー数(累計) 440人

#### 現状値(平成15年度)

826.5万人  
75万人  
380人



自然公園及び中国自然歩道の利用者数であり、毎年、公共交通機関の降客数等を基に入口地点での流入者数を推定し、国が定める計算式により国立・国定・県立公園及び自然歩道ごとに算出します。三瓶自然館、宍道湖自然館、しまね海洋館の3施設の年間入場者数です。

県民の自然とのふれあいを推進する自然解説員、自然観察指導員、自然保護レンジャー、森林インストラクターの合計です。現状値は、昭和58年度からの累計です。

### 現状と課題

人は自然から水や空気だけでなく、心の安らぎや人間性の回復といった様々な恵みを楽しむことができます。

自然保護ボランティア事業や自然観察会への参加者等が増加するなど、豊かな自然へのふれあいを求める要望は高まる傾向にあります。

自然学習を目的に整備してきた三瓶自然館、宍道湖自然館、しまね海洋館などの施設や自然公園、森林公園などでの自然の観察や環境学習を通して、自然とふれあう楽しさを感じたり、自然へ過重な負荷を与えないような適正なつきあい方を身に付けてもらう必要があります。(図表1参照)

森林、水田等が果たしている公益的機能について、広く県民の理解を得る取り組みや、河川や海岸などの公共工事の実施にあたり自然環境に配慮した工法を採用して自然とのふれあいの場をつくることが求められています。

目的を達成するための主な基本事務事業

主な事務事業

事業名	概要
<p><b>自然保護啓発事業</b> 〔担当課〕景観自然課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>自然とのふれあいを進めるにあたり必要な自然に親しみ学び、保護をする思想の普及啓発を進めます。地域での自然観察会の講師になれるような人材を育成するための研修や自分で観察できるモデルコース選定等により、観察機会を増やします。さらに身近な動植物について県民参加型の調査を実施します。</p> <p>県民参加による自然保護のための啓発活動事業</p>
<p><b>森林に対する県民理解の促進事業</b> 〔担当課〕林業課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>森林とのふれあいを通して県民に森林の持つ公益的機能への理解を求めため、ふるさと森林公園、県民の森等においてイベント、体験講座などを開催します。また、森林体験活動の指導者を育成するとともに、地域での森林体験活動推進のための普及・支援を行います。</p> <p>森林とのふれあい条件整備事業</p>
<p><b>県民参加の森づくり</b> 〔担当課〕林業課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>森づくりに関する情報の提供や交流、指導者の養成・派遣等により県民が主体的に活動できる環境を整備します。また、県民提案の実現を支援し、多様な主体が協働して「水を育む豊かな森」を次世代に引き継ぐ取り組みを進めます。</p> <p>森づくり推進事業 森づくり・資源活用実践事業</p>
<p><b>自然公園の整備・管理事業</b> 〔担当課〕景観自然課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>国立、国定、県立自然公園の自然を保護しながら、安全で快適な利用ができるように整備・管理に努め、公園内の野営場、探勝路、トイレ等の施設の整備や補修、公園内で行われる行為の許可や事業の承認を行います。</p> <p>自然公園の整備・管理事業</p>
<p><b>中国自然歩道の整備管理事業</b> 〔担当課〕景観自然課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>県内全長約560kmの中国自然歩道を安全快適に活用してもらうため、整備、管理に努め、詳細な施設の状況把握と適切な維持補修を行います。</p> <p>中国自然歩道の整備・管理事業</p>
<p><b>河川・海岸環境整備事業</b> 〔担当課〕河川課・港湾空港課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>河川や海岸施設の整備にあたっては安全に川辺・海辺に近づき、自然とふれあうことのできる親水性護岸等の整備を行います。</p> <p>河川環境準備事業 海岸環境整備事業 田儀港海岸の環境整備</p>

事業名	概要
<p><b>土地改良事業に関する意識啓発事業</b></p> <p>〔担当課〕農村整備課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>県民に農業や農村が持つ公益的な機能を理解してもらうために、地域で実施する棚田等農地や水路・ため池等の農業用施設を活用した都市住民との交流イベントや地域住民活動等を支援します。</p> <p>中山間ふるさと水と土基金事業</p>

図表 1 県の自然学習施設

**【三瓶フィールドミュージアム】**

三瓶山の大自然そのものを学習、自然体験などの場として生かすことを目的に整備されたのが「三瓶フィールドミュージアム」です。その中核施設である「三瓶自然館」は、自然系の博物館として県内を中心とした動植物や天文地学という幅広い分野についての標本約2万点を収蔵し、順次館内で展示しているほか、学芸員の研究成果を発表する等の活動を行っています。

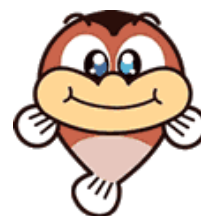
また、三瓶山周辺地区の自然観察会や天体観察会、各種イベントを年間を通じて開催することによって自然保護や地球環境保全の大切さについて情報発信しています。

このほか、世界的にも例を見ない縄文時代の直立した巨木を発掘・展示する「三瓶小豆原理没林公園」、昆虫採集や山菜採り等の体験イベントを通して楽しみながら天然林とふれあえる「ふれあいの里奥出雲公園」、オートサイトも備えた国立公園内のキャンプ場として県内最大規模を誇る「北の原野営場」等があります。（大田市・雲南市）



**【宍道湖自然館ゴビウス】**

「もっと知ろうふるさとの自然、親しもう水辺の生き物」をテーマにした宍道湖西岸にある体験型学習施設です。日本有数の汽水湖である宍道湖・中海をはじめ、県内の汽水・淡水域に生息する様々な生き物（約165種・12,000点）の姿を紹介するとともに、自然観察会や各種イベントを開催し、島根の豊かな自然について子供から大人まで楽しみながら学ぶことのできる機会を提供しています。（出雲市）



**【しまね海洋館アクアス】**

目の前に雄大な日本海を臨む島根県立石見海浜公園にある水族館です。西日本では唯一のシロイルカをはじめ、島根の神話に登場するサメ（ワニ）を主人公にした1,000トンの大水槽“神話の海”、島根県の県魚のトビウオなど約450種・10,000点の生物を展示しています。

また、石見地域の交流拠点として、地域色豊かなイベントを定期的に行うとともに、生命の大切さや自然の不思議について学び、島根の美しい海を守っていく人材を育てるため、週末や夏休み、春休みを中心に様々な体験スクールを開催しています（浜田市・江津市）

